

③		②		①
①	ア	①	ア	ア
四	いちご	全体の数	五本の直線	黒板
				①
				「正」の字

「かいせつ」

(1) 本文に、「レイは、先生が読み上げたら、それに合わせて黒板に『正』の字を書いていく係です。」とある。

(2) 本文に、「正の字は五本の直線だけでできていて、ひと目で全体の数が分かるのです。」とある。

(3) 表をよく見て答えること。数字は漢数字で答えることにも気をつける。

(1) は、バナナが好きな人の人数が、一組が八人で、二組が二人なので、一組は二組の四倍であることが分かる。

※(1)の①・②は順不同じゆんふ

※
(3)は順不同

③ ※		②		①
ウ	②	①	メロン	すきなくだもの
	みかん			
エ				
	③		についてのアンケート。	
	一			

「かいせつ」

(1) 本文に、「三年一組と二組の全員に、すきなくだもの
のアンケートをとりました。」とある。

(2) 表をよく見て答えること。(3) は、漢数字で答える
ことにも気をつける。

(2)・(3) は、一組と二組をくらべて、すきな
人の人数の差が一人のくだものを、表からさがす。ま
た、「一人少ない」のは、どちらの組かを聞いている。

(3) レイの言葉に、「表にまとめると、けっかが見やすいし、
ちがいをくらべやすいな。」とある。

⑥	⑤	④	③	②	①
ぞ	いちご	ウ	イ、エ	バナナ	メロン
れ					
	と				
	二				
	組				
	、				
	そ				
	れ				

「かいせつ」

※(1)・(2)は、表^{ひょう}からも、先生の言葉^ばからも分かる。

(1) 本文に、「一組で、二番目に好きな人の人数が多いくだものは、何ですか。そう、メロンですね。」とある。

(2) 本文に、「では、二組では何ですか。」「はい。バナナです。」とある。

(3) 表からも、ケントの言葉からも分かる。

「二組のほうが、好きな人の人数が多いくだものは何ですか。」というしつもん^{しつもん}に、ケントは、「バナナとメロンです。」と答え、先生が「正かいです。」と言っている。

(4) 本文に、「ケントは、ドキドキしながら答えました。」とある。

ウキウキ…うれしくて、心が落ち着^おかない様子^{ようす}。

イライラ…思いどおりにいかなくて、心が落ち着かない様子。

ドキドキ…よろこびやふあんで、心ぞうの動き^{うご}が早くなる様子。

(5) 表から、「いちご」だと分かる。

(6) 本文に、「では、たしかめましょう。同じくだものについて、一組と二組、それぞれの人数をくらべればいいですね。」とある。



③		②	①		
①	②	合 計 の 人 数	B	A	
テニス	十八		テニス	二組	一組
				野球	サッカー

「かいせつ」

(1) A 本文に、「すきな人がいちばん多いスポーツは、一組ではサッカーで、二組では野球です」とある。

B テニスがすきな人の人数は、一組が六人、二組が三人で、一組が二組の二倍ばいになっている。

(2) 本文に、「今度は、一組と二組の人数を合わせると、どうなるかを考えてみます。合計の人数も書くと、表2のようになります。」とある。

(3) 表2の、野球がすきな人の合計の人数は、十八人。「十八」は、「九」の二倍なので、(1)にはテニスが入ることが分かる。



③		②	①		
B	A	合 計 の 人 数	B		A
二十六 人	サッカー		四組	二組	すきなスポーツ
			バスケットボール		
			サッカー		

「かいせつ」

(1) A 本文に、「次の表は、三年二組と四組で、すきなスポーツを調べたものです。」とある。

B 「表」から、それぞれの組の、すきな人の人数がいちばん多いスポーツを見つければよい。

(2) 本文に、「今度は、二組と四組の人数を合わせると、どうなるかを考えてみます。合計の人数も書くと、「表2」のようになります。」とある。

(3) A すきな人の合計の人数が、いちばん多いスポーツを見つければよい。

B 二組と四組の人数の合計が五十二人なので、そこから二組の二十六人をひけば、四組の人数が分かる。または、四組の、すきなスポーツのそれぞれの人数を、全^{すべ}てたしてもよい。